

事業番号	07 03 04	事業改善シート (30年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	中小企業金融対策事業費	部局	産業労働部	課・室	産業立地・経営支援課	
		実施期間	S28 ~	E-mail	keieishien@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	労働生産性					
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成					

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 県が金融機関に貸付原資の一部を預託することで、貸出金利を低減化する。(H29.12月末預託額 実績 33件、306億円) 政策的な資金については、県が信用保証料の一部を補助し、企業負担を軽減する。(H29.11月末補助金 実績 858件、1.5億円) 滞納となっている高度化資金及び近代化資金については、サービサーに回収業務を委託するなど、その縮減に取り組んでいる。(H29年度委託債権額7.3億円、債権回収額約382万円(H29.12月末実績)) 	30年度 決算額	26,187,266 千円
			職員数
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業者の信用度を補完し、事業に必要な資金の円滑な調達を促進する。 高度化資金及び設備近代化資金における債権調査等を進めながら、滞納額を縮減する。 (主な実施内容: 中小企業融資制度資金、中小企業高度化資金貸付など)		

事業	区分(単位:千円)	29年度	30年度	令和元年度	指標及びその達成状況				
					No	成果指標	29年度	30年度	
前年度繰越				目標値				成果	達成状況
事業額	当初予算	61,754,084	48,118,079	48,612,293	① 中小企業融資制度「信州創生推進資金」及び「新事業活性化資金」利用件数	705件	740件	780件	達成
	補正予算	-26,361,081	-21,902,651						
	合計(A)	35,393,003	26,215,428	48,612,293					
	一般財源	217,623	215,095	623,674					
Aの財源	県債				② 滞納額(高度化資金)	707,876 千円	704,593 千円	680,163 千円	達成
	国庫支出金								
	その他	35,175,380	26,000,333	47,988,619					
	決算額(B)	35,377,840	26,187,266						
概算人員費	職員数(人)	10.80	10.80	10.80	③ 滞納額(設備近代化資金)	26,780 千円	26,533 千円	19,976 千円	達成
	概算人員費(C)	87,502	88,754	88,754					
	概算事業費(B(A)+C)	35,465,342	26,276,020	48,701,047					
備考	※ 成果指標①については、中小企業融資制度資金の新規融資額(融資可能額)を目標値としていたが、セーフティネット的な経営下支え資金が含まれていたため、点検時には、県の商工施策に適合する方向へ中小企業者を誘導・援助する積極的支援資金の利用件数で比較することとした。				成果指標 設定理由	①県の商工施策に適合する方向へ中小企業者を誘導・援助する資金の利用件数について、前年度実績を踏まえ目標値を設定した。 ②③税外収入未収金の状況を評価でき、これまでの納付状況、見込み等を踏まえ目標値を設定した。			
目標に対する成果の状況	① 創業や設備投資等を促進する資金メニューを改正し、中小企業者の資金ニーズに対応した結果、利用件数が伸びた。 ②③ 県とサービサーが連携して延滞債権の回収に努めるとともに、回収困難な延滞債権については債権放棄を行った結果、縮減が進んだ。								

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	① 中小企業者の資金需要に対応するため、経済状況、社会情勢等に応じた制度とする必要がある。 ②③ 資力がないなどの事情により、返済が進まない債務者がいる。	① 国の制度の動向等を考慮し、経済状況、社会情勢等に応じた効果的な制度となるよう随時見直しを行う。 ②③ 未収金について、サービサーと連携し、引き続き縮減を図る。

3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数(人)	平成30年度		令和元年度(当初)
					(当初)	(決算)	
1		中小企業融資制度資金	融資原資預託、信用保証料補助金	10.00	47,685,913	26,043,157	47,279,883
2		高度化資金	中小企業基盤整備機構への貸付及び償還、一般会計への繰出	0.50	422,406	134,260	1,322,120
3		小規模企業者等設備導入資金貸付事務費	延滞債権回収業務委託、貸付金管理システムリース	0.10	8,260	6,796	7,550
4		小規模企業者等設備導入資金	設備近代化資金の国への償還、一般会計への繰出	0.20	1,500	3,053	2,740
			合計	10.80	48,118,079	26,187,266	48,612,293

事業改善シート附表

□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業番号	事業名	中小企業金融対策事業費				部局	産業労働部	課・室	産業立地・経営支援課			
細事業No	細事業名	項目	実施方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施状況	29年度	30年度				
							当初（千円）	要求（千円）	当初（千円）	補正（千円）	決算（千円）	
1	中小企業融資制度資金	融資原資預託	貸付金	金融機関に貸付原資の一部を預託する。	金融機関に貸付原資の一部を預託した。 預託先：八十二銀行他33金融機関	計画通り ○	56,260,176	47,057,340	47,057,340	-21,202,828	25,854,512	
1	中小企業融資制度資金	信用保証料補助金	補助金	政策的な資金について、信用保証料の一部を補助	政策的な資金について、信用保証料の一部を補助した。 件数：1,041件	計画通り ○	610,651	628,573	628,573	-413,478	188,645	
2	高度化資金	高度化資金貸付	直接	中小企業基盤整備機構への貸付	中小企業基盤整備機構へ貸付を行った。	計画通り ○	7,846	8,511	8,511		8,511	
2	高度化資金	高度化資金償還	直接	中小企業基盤整備機構への償還	中小企業基盤整備機構へ償還を行った。	計画通り ○	4,342,341	400,720	400,720	-311,289	89,430	
2	高度化資金	高度化資金繰出	直接	一般会計への繰出	一般会計への繰出を行った。	計画通り ○	521,900	13,175	13,175	23,144	36,319	
3	小規模企業者等設備導入資金貸付事務費	不動産競売	直接	不動産の競売		未実施 ×	1,860	620	620		0	
3	小規模企業者等設備導入資金貸付事務費	延滞債権回収業務委託	委託	延滞債権回収業務委託	延滞債権回収業務委託 委託先：日立キャピタル債権回収（株）	計画通り ○	4,840	4,670	4,670		4,288	
3	小規模企業者等設備導入資金貸付事務費	貸付金管理システムリース	直接	貸付金管理システムリース	貸付金管理システムリース	計画通り ○	1,308	1,308	1,308		1,302	
3	小規模企業者等設備導入資金貸付事務費	事務費	直接			計画通り ○	1,662	1,662	1,662		1,206	
4	小規模企業者等設備導入資金	設備近代化資金償還	直接	国への償還	国への償還を行った。	計画通り ○	750	750	750	900	1,519	
4	小規模企業者等設備導入資金	設備近代化資金繰出	直接	一般会計への繰出	一般会計への繰出を行った。	計画通り ○	750	750	750	900	1,534	
合 計								61,754,084	48,118,079	48,118,079	-21,902,651	26,187,266